

# 祝 滋賀県立高島高等学校創立100周年 記念式典を開催

## 「高島の伝統・続いていく創造」

### 百年の重み 厳かな式典

令和3年10月16日(土)午前10時から、高島市民会館において「創立100周年記念式典」が開催されました。新型コロナウイルス感染症のため、当初の計画より規模を縮小した式典となりましたが、厳粛なかにも心温まる記念式典となりました。

式典は、橋本実行委員長の式辞、西川校長の挨拶に続き、滋賀県知事、県教育長から祝辞を頂戴し、その後、実行委員長から校長へ記念事業目録の贈呈と続きました。

また、生徒を代表して水柳(みづくさ)生徒会長が挨拶し、「敦厚剛毅」「文武両道」の精神を大切に高い志をもち、未来の高島高校へ繋いでいくこと、高島の地に活気あふれる高島高校を築き上げていくことを誓いました。

最後に、参加者全員で校歌を斉唱し、閉式となりました。在校生達は YouTube を通じて式典の様子を視聴しました。



第42号  
発行所 滋賀県高島市今津町 滋賀県立高島高等学校 TEL (0740) 22-2002  
発行編集人 高島高校藤陰会  
印刷 中村印刷株式会社 高島市勝野 TEL (0740) 36-1116



ご参加ありがとうございます



厳かな式典

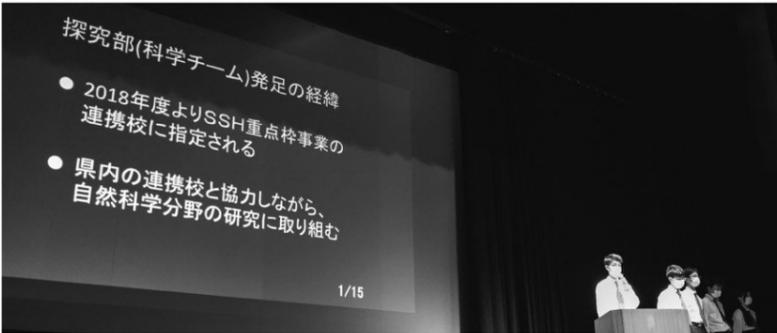


決意を述べる生徒会長

### 生徒たちによる 発表

厳かな式典の後には、生徒たちが高島高校の今を紹介しました。最初に、1学期に開催した「体育祭」でのクラスパフォーマンスの様子や、「文化祭」での各学年の取組の様子を編集した動画を流し、高島高校生の青春の一コマを伝えました。

次に、探究部科学チームが、「琵琶湖のマイクロプラスチック」についての調査研究を発表しました。最後に、動画を流して、吹奏楽部が美しい演奏を披露し、幕を閉じました。



探究部の研究発表



吹奏楽部の演奏(動画)

### 皆様の厚志に心より お礼申し上げます

今回の創立100周年記念事業が計画通り実行することができ、成功裡に終えることができましたのは、会員の皆様をはじめ、市内の企業および市内外の多くの皆様方のご厚志によるものと考えております。紙面をお借りし、心よりお礼申し上げます。

お陰さまで、当初の目標でありました二、〇〇〇万円を超え、一、六〇〇万円近く(最終集計中)の募金となりました。これは一重に皆様方の記念事業へのご理解と、母校への温かい思いによるものと感謝しております。

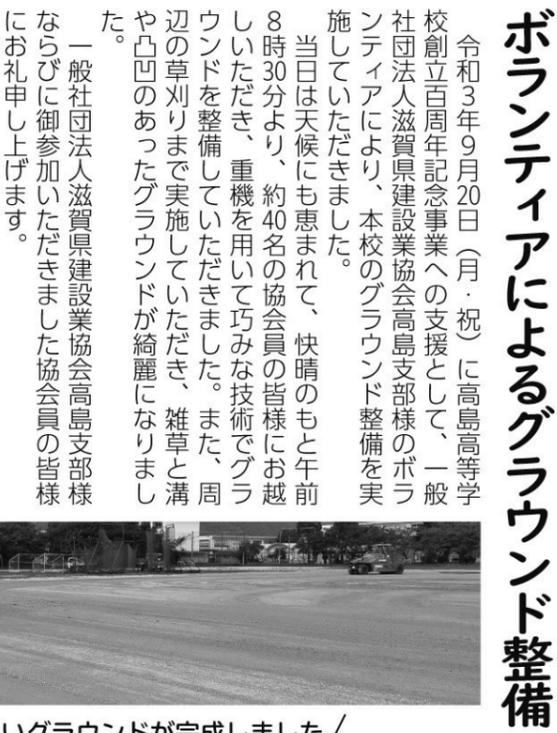
この募金は、生徒の教育のために活用することを第一として、「先端情報機器教室」の整備(2教室)、生徒の海外研修を支援するなどの「心の教育基金」の充実および記念石碑の建立を重点に使わせていただきます。

ご厚志賜りました会員の皆様への礼状を同封しましたが、不行届きな点がありましたこと、ご容赦をお願い申し上げます。

なお、多額のご厚志をいただきました市内の企業、事業所様につきましては、感謝の意を込めて会社名を掲載させていただきます。



整備された教室「TAKASHIMA ラーニング・commons」



### ボランティアによるグラウンド整備

令和3年9月20日(月・祝)に高島高等学校創立100周年記念事業への支援として、一般社団法人滋賀県建設業協会高島支部様のボランティアにより、本校のグラウンド整備を実施していただきました。当日は天候にも恵まれて、快晴のもと午前8時30分より、約40名の協会の皆様にお越しいただき、重機を用いた巧みな技術でグラウンドを整備していただきました。また、周辺の草刈りまで実施していただき、雑草と溝や凸凹のあったグラウンドが綺麗になりました。



新しい土を搬入



タイヤローラーで転圧

### 創立100周年記念石碑 「藤陰の志」

滋賀県立高島高等学校創立100周年を記念して石碑「藤陰の志」を設置し、10月13日に除幕式を行いました。「藤陰の志」とは、藤の大樹の陰に集う若者たちが、中江藤樹先生の教え「良知(人が生まれながらに持っている正しい知力、美しい心)」に従い、志高く育っていくことを意味しています。



美しいグラウンドが完成しました！



”創立百周年 高島の伝統 続いていく創造“  
**皆様のご協力のお陰で**  
**実り豊かな創立百周年記念事業を**  
**終えることができました**

藤陰会会長 橋本 源之助

藤陰会会員の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素から本会並びに母校にご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

まずもって、本年、10月16日(土)に、高島高等学校創立百周年記念式典を滞りなく終えることができたことを報告申し上げます。

これは一重に会員の皆様一人一人のご支援、ご協力の賜物と心より感謝申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルスの感染症蔓延のため、記念式典を始め、募金活動、生徒の教育に資する記念事業の実施等も1年間延期致しました。開催しました式典は、知事、市長のご臨席の下、盛況裡に終えることができました。コロナ対策の万全を期し、規模を縮小し、高校生と保護者には、式典の様子をリアルタイムに配信し、藤陰会員には、後日、会報に提示するQRコードからの録画配信をすることとしました。式典の後の生徒の発表・学校の様子(動画・研究部科学チームの研究発表・吹奏楽演奏(動画))は、よく工夫され、主体的で意欲的な発表であり、参加いただいた方々に感銘を与えました。

ご協力いただいた募金は、生徒の教育のため



**ご挨拶**

滋賀県立高島高等学校 校長 西川 朗

藤陰会会員の皆さまには、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は母校発展のために格別のご支援とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、創立百周年の記念式典はコロナ禍の状況を踏まえ1年延期しましたが、本年10月16日に無事挙行することができました。当日は、滋賀県知事 三日月大造様、滋賀県教育委員会教育長 福永忠克様をはじめ、多くの皆さまのご臨席を賜り、厳粛な中にも、生徒の発表をまじえるなど、現在の学校の様子一端もお見せすることができ、教職員、生徒一同大変喜んでるところです。藤陰会会員の皆さまには、記念式典の準備、募金活動や広報活動において中心的な役割を担っていただき、また記念誌作成へのご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

記念式典は本来ですと、多数のご来賓をご招待し、高島市にお住いの同窓生の皆さまにもお越しいただき、在校生も会場にて盛大に百周年をお祝いさせていただくところですが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、最

に活用することを第一とし、「先端情報機器教室」の整備、「心の教育基金」の充実と記念石碑の建立を重点に使用していただきました。この創立百周年の節目に、母校高島高校の若者が、先輩である皆様方へ「藤陰の志」を受け継ぎ、未来に力強く羽ばたいてくれるものと期待しています。

なお、募金活動では、会員の皆様のご協力を得て、多額のご厚志をいただきましたことに対しまして、この場をお借りして心より厚くお礼申し上げます。

また、本年度も、コロナ禍により例年7月に市内で開催していただいていた藤陰会の理事会及び評議員会を、書面開催としました。昨年度の事業実績と決算並びに会費納入の減少による事業の縮小、重点化等の本年度事業計画と予算案を承認いただきました。本部といたしまして、コロナ後も視野に入れ、本会の運営や活動の在り方を見直し、検討してまいりたいと考えています。

最後になりましたが、皆さまのますますのご健勝とご活躍をご祈念申し上げます。ご挨拶といたします。

(本会報は記念事業特集とし、式典等の様子をお届けするため、例年より早く発行しました。)

小限の出席者にとどめざるを得なくなりましてことをお詫び申し上げます。ただ、式典の様子は、在校生諸君とその保護者の皆さまには当日ライブ配信するとともに、藤陰会会員の皆さまには、本紙面に記載のQRコードを読み込んでいただけます。録画をご覧いただけるようにさせていただきます。式典の雰囲気も少しでも共有できれば幸いです。

また、百周年を記念して実行委員会より先端情報機器教室の整備、心の教育基金の充実、記念石碑の建立をしていただきました。特に、先端情報機器が整備された教室は「TAKASHIMA ラーニング・コモンズ」と命名し、本校の探究的な学びの拠点として活用し、新たな歴史の一步を踏み出す礎とさせていただきます。

藤陰会会員の皆さまには、百周年を超えてさらに発展を遂げるべく新たな取組を進める本校へ熱いご支援とご理解を賜りますようお願いいたします。あわせて藤陰会の益々の発展を祈念申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

**高島高校の今**

本校はこれまで普通科単独の高校として歩んできましたが、今年度四月より「文理探究科」という新たな学びの場となる学科を併置し、2学科の高校として一〇一年目をスタートしました。現在は1学年5クラス規模(第一学年は普通科4クラス、文理探究科1クラス)、五七二名の生徒が学んでいます。長引く新型コロナウイルス感染症の影響を受け、様々な活動制限がありますが、感染症対策をしながら教育活動を継続しています。

コロナ禍がリモートでの活動やオンライン授業といった教育のICT化を後押しすると同時に、今、高校では「主体的、対話的で深い学び」を目指して探究活動を進めています。これまでの教師主導の教授的なスタイルの授業から、生徒が自ら課題を見つけ、考え、協働的に解決していく授業へ転換しています。百周年記念事業で整備していた「TAKASHIMA ラーニング・コモンズ」(先端情報機器を備えた探究活動専用教室)を活用しながら、生徒たちのいきいきとした学びを推進していきます。

また部活動においては、緊急事態宣言下では活動休止を余儀なくされましたが、公式戦や大会は中止されることなく無観客で行われました。陸上競技部・ボート部・ソフトテニス部が優秀な成績を収め、近畿大会への出場を果たしています。またボート部は3月に行われる全国選抜大会への出場権を獲得しました。練習時間や他校との練習試合の機会が制限され、感染症対策に気を配りながらの活動ではありますが、それぞれの部で目標を掲げて仲間とともに日々練習に励んでいます。コロナ禍の厳しい状況にも負けずに頑張る高島高校生に、今後とも温かなご支援をいただきますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。



**令和2年度 高島高等学校藤陰会 会計決算書**

科目		予算額	収入済額	差引額	説明
<b>(収入の部)</b>					
会費		2,584,000	2,341,125	△ 242,875	
入会金		1,284,000	1,272,000	△ 12,000	@ 6,000円×212名
会費		1,300,000	1,069,125	△ 230,875	@ 2,000円×598名
繰越金	前年度繰越金	1,728,847	1,728,847	0	
諸収入		34,653	30,014	△ 4,639	
	預金利息	3	14	11	
	雑収入	30,000	30,000	0	志等
	名簿販売収入	4,650	0	△ 4,650	
合計		4,347,500	4,099,986	△ 247,514	
<b>(支出の部)</b>					
総務費		405,000	63,736	341,264	
会議費		35,000	0	35,000	理事会、評議員会等
交際費		70,000	0	70,000	各支部祝金
旅費		180,000	0	180,000	各支部総会出席旅費
需用費		20,000	4,180	15,820	消耗品
役務費		100,000	59,556	40,444	郵送料、PC回線使用料等
事業費		695,000	493,680	201,320	
	部活動奨励費	310,000	140,000	170,000	全国大会等助成
	新入会員記念品費	185,000	162,980	22,020	卒業証書ホルダー
	支部運営補助費	150,000	150,000	0	各支部助成
	広報活動費	50,000	40,700	9,300	HP保守・管理料
会報発行費		2,160,000	219,382	1,940,618	
	印刷費	160,000	61,160	98,840	藤陰会報
	発送費	2,000,000	158,222	1,841,778	
予備費	予備費	1,087,500	0	1,087,500	
合計		4,347,500	776,798	3,570,702	

※令和2年度より、会費を納入頂いている方のみへ会報を発送しています。  
 ※令和3年度は、100周年記念事業により会員全員へ会報を発送しています。

**令和2年度 高島高等学校藤陰会 現況・事業報告**

【令和2年7月1日～令和3年6月30日】

《令和2年度 現況》  
 会員数 全会員総数 29,240名  
 うち住所不明者数 6,125名  
 うち物故者数 3,129名  
 うち新入会員 212名 (令和3年3月卒業生)

《令和2年度 事業報告》  
 1 会議等  
 令和2年 7月 7日 (金) 会計監査  
 令和2年 7月 15日 (水) 理事会、評議員会 (書面審議)  
 令和3年 2月 26日 (金) 入会式  
 令和3年 3月 16日 (火) 三役会  
 令和3年 4月 14日 (水) 百周年募金事業各地区代表者会  
 令和3年 4月 30日 (金) 百周年実行委員会幹事会  
 令和3年 5月 31日 (月) 三役会

2 会員相互の交遊を深めるための事業  
 (1) 会報の発行……藤陰会報の発行 (令和3年1月発行 第41号) 1,500部印刷  
 (2) 支部活動への運営補助……東京・阪神・京津支部

3 母校と同窓会との緊密化を図るための事業  
 (1) 全国大会等への出場選手に対する激励と助成  
 延べ17人、1団体  
 全国大会 (個人) 10,000円/7人・(団体) 50,000円/1団体  
 近畿大会 2,000円/10人  
 (2) 新入会員への記念品贈呈……卒業証書ホルダー

《令和2年度 心の教育基金事業報告》  
 1 会議 心の教育基金運営委員会 令和2年11月6日 (金) (書面審議)  
 2 事業  
 (1) 教育講演等に関する事業…新型コロナウイルス感染防止対策により中止  
 (2) 教育図書等の購入…書籍の購入 (86冊)  
 (3) 教育環境の整備に関する事業…例年、海外短期研修への助成を行っているが、新型コロナウイルス感染防止対策により海外派遣事業中止